

なんたん 社協だより

2017.1

第32号

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり



キラリ輝くボランティア
～深めよう善意の絆～

第10回南丹市ボランティア交流会が開催されました。ボランティア約200名が集い、展示物での活動紹介や舞台での活動発表で交流を深めました。
(平成28年11月18日 南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」にて)

新年明けましておめでとうございます
市民の皆様には、平成29年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、当会の運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、平成27年4月に介護保険制度が改正され、新しい介護予防・日常生活支援総合事業がスタートしました。(南丹市では、平成29年4月にスタート) この事業は、介護や支援が必要になっても住み慣れた地域で、友人や地域の人と交流をもち、生きがいや楽しみを見つけながら、自分らしい暮らしを続けていくことをめざしています。

制度によるサービスだけでは対応できなかったり、解決が難しい問題について、住



社会福祉法人
南丹市社会福祉協議会
会長 田中 博

ごあいさつ

民が主体となって行う助け合い活動や生活を支援するための様々なサービスを充実させ、地域づくりを進めていくための仕組みが盛り込まれました。


このことは、これまでから社協が進めてまいりました地域づくりそのものであると考えております。本年も役職員一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。




平成29年1月4日に、南丹市社協は11年目を迎えました。
南丹市社協発足以来、社協理事として南丹市の地域福祉ならびに
社協の発展に携わっている田中会長に、お話を聞きました。

笑顔と絆で福祉の^{まち}郷を創造したい

 この10年、南丹市内での地域福祉活動の変化をどのように感じていますか？

民生児童委員・ふれあい委員を中心に
した身近な地域における見守り活動や、
ふれあいいきいきサロン活動、多様なボ
ランティア活動など、様々な地域福祉活
動の輪が広がっていることを、大変うれ
しく思っています。


また、いくつかの地区で、地域福祉活
動を進める基盤となる組織・ネットワ
ークづくりを、地域の方々が主体的に進め
ていただいていることは、大きな成果だ
と感じています。

 その成果を受けて、これから、南丹市にどのような町になってほしいですか？

南丹市社協で策定した第2期南丹市地
域福祉活動計画『なんたんふれあいプラ
ン』では、「みんなでたすけあう あったか
なんたん」を基本理念にしています。

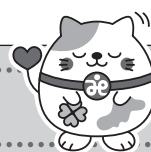
誰もが安心して住み続けられる町にす
るためには、制度・サービスの充実だけ
でなく、地域における支え合いがますます
必要になってきています。

私たち一人ひとりが、その担い手となっ
て、みんなでたすけあえる あったかい南
丹市を目指しましょう。

 田中会長自身が、地域の中で取り組
もうと思うことがあれば教えてください。
さい。

私も後期高齢者ですが今高齢化が進行
する中で、まずは自らが健康で活動でき
る体を保ちたいと思っています。地域の
方々が親しみと地域の良さを認識・共有
しながら、日々楽しく過ごしていける環
境と地域の絆づくりの為に、今までの経
験を活かしていきたいと思います。

ニャンたんの感想



みんなで地域の絆づくりに取り組ん
でいくことが、地域福祉の推進に大き
な役割を果たしています。社協は、市
民のみなさんの活動を一緒に応援して
いきます。

まさかの
災害に
備えて

みんなが安心して過ごせる 避難所を考えよう

近年頻発する大規模災害…昨年も熊本県や鳥取県中部で大規模な地震災害が発生しました…。長期間にわたる避難所生活では、お年寄りや障がいのある方など、要配慮者に配慮した避難所運営が求められます。

そこで、昨年9月4日に南丹市で実施された京都府総合防災訓練では、「災害時要配慮者※1」を意識した福祉避難コーナーの設営と運営の訓練に取り組みました。

この訓練の中で、南丹市と社協、関係機関が協働して「福祉避難コーナー※2」の設置や要配慮者の受け入れを想定したロールプレイに取り組みました。

※1災害時要配慮者：避難時、また避難所において特別な配慮の必要な方。乳幼児や外国人、けが人、高齢者や障がい者など。

※2福祉避難コーナー：要配慮者が避難した際に過ごしやすい環境が整えられた場所。



育児スペース

乳幼児を抱える方たちが、周囲の避難者に気づかずに授乳や休憩ができ、育児を支援します。



段ボールベッド

段ボールを組み合わせるとベッドになります。床での寝起きが難しい方も、段ボールベッドや簡易ベッドがあると少しでも心配を減らすことができます。



プライバシーを守るためにも、男女別の更衣室や下着などを気にせず干せる場所を確保します。



避難所に来てでもそこに居続けることが難しく、車中泊や在宅生活を余儀なくされる方も中にはいます。個室を用意することで、心配を少しでも減らすことができます。

大規模な災害が発生した時には、市と避難住民が協力して避難所を運営しなければなりません。みなさんの地域でも、要配慮者を含む誰もが安心して避難できる避難所運営について考えてみてください。
(参考：「京都府福祉避難コーナー設置ガイドライン」 <http://www.pref.kyoto.jp/fukushi-hinan/>)

3.11

「地域防災講座」の開催

地域住民のみなさまを対象とした「防災講座」を開催いたします。
東日本大震災の起きた日、あらためてあの日のことを振り返ります。

日時：平成29年3月11日（土） 午後1時～

場所：日吉町生涯学習センター（遊 you ひよし）

講師：京都府災害ボランティアセンター 東直美氏

防災カードゲームを通して、私たち一人ひとりができることや地域でできることを考えてみましょう。

ご存知ですか?あなたの地域の“ふれあい委員”さん

“ご近所福祉の推進役”です。

ふれあい委員の役割は、民生児童委員、区長、社協などと連携を図り、近隣の住民とともに福祉のまちづくりを進めることです。



ふれあい委員は、区長の推薦により、南丹市社会福祉協議会会長が委嘱します。

地域住民どうしの支え合いだけでは支援が困難な時には、専門職がサポートします。住民と専門職とが顔の見える関係をつくり、日常的に連携できる体制づくりをすすめます。

“活動”

①気づき役（見守り活動） ②つなぎ役（連絡・相談） ③参加活動（サロンなど）

ふれあい委員の見守り活動



月に1回、ふれあい委員と民生児童委員が、一緒に訪問



ふれあい委員と民生児童委員が、定期的に情報交換



訪問・サロン・農作業中・買い物中・散歩中など、見守りの方法は様々です。

サロンに来られる方や、来られない方への訪問などサロンを通しての見守り

日々の見守り活動を通して

地域の人と顔見知りになれたり、交流できて楽しいです。

住民同士がお互いに思いあえる地域にしたいです。声をかけつつけることが大切です。

サロンに“来てよかった”と言ってもらえることが励みです。「みんな元気で頑張ろうね」が合言葉です。

ふれあい委員になって、恥ずかしい、おせっかいと思っていたけれど、地域への思いが出てきました。

ちょっとした気配りがふれあい委員活動の要だと思います。周りの人のちょっとした変化に気づくように心がけています。



ふれあい
委員さんの声

ふれあい委員さんが訪問に来て下さることを毎月楽しみにしています。

サロンに行くと、みんなに会えます。おしゃべりして、笑いあってと、毎回とても楽しみです。



ふれあい委員さんと
出会って

自慢の料理をふれあい委員さんにおすそ分けして、喜んでもらいました。人に喜んでもらうと、作りがいがあります。

ふれあい委員さんが子供を連れて訪問に来てくれました。その後、学校の行き帰りに、その子供と挨拶を交わせるようになれて、嬉しさが倍になりました。

南丹市の
ふれあい
委員さんは

他府県からも注目されています!!

南丹市のふれあい委員と民生児童委員の連携による見守り活動は、他府県からも注目を集めており、これまでいくつかの市町村から視察研修に来られました。

視察当日は、ふれあい委員、民生児童委員にふだんの活動の様子をお話ししてもらいました。「できるときにできること」を無理のない形で見守りをしています。南丹市では、見守りチラシをツール（手段）とした訪問見守り、サロンでの見守り、ふれあい委員と民生児童委員が連携して情報交換をしているところが注目されています。

こんにちは、やぎ詩の郷です。

やぎ詩の郷は、高齢になっても、認知症になっても安心して暮らしていけるように、古民家を改修したアットホームな雰囲気、楽しく和やかに過ごせる空間です。畑仕事や昼食づくり・季節ごとの行事など…皆さんが生きいきと活躍できる場所でもあります。

今回は、やぎ詩の郷から食欲の秋に皆で作ったアップルパイを紹介します。

やぎ詩の郷では、利用者様のご家族やご近所の方からいただいた旬の食材を利用し、ボランティアの方と一緒に和気あいあいとおやつを手作りしています。

材料(一枚で4個分)8個分

冷凍パイシート	2枚
りんご	2個
バター	20g
砂糖	大さじ2杯
レモン汁	適量
シナモン	適量
卵黄(少し水で薄める)	1個



アップルパイ

♪ レシピ ♪

- ①りんごの皮をむき、角切りにする。
※少し薄めにした方が火の通りも早いです。
- ②鍋または、フライパンにりんご、バター、砂糖、レモン汁を入れ中火にかける。りんごがしんなりしてきたら弱火にする。
- ③リンゴの水分が無くなるまでまぜながら煮つめる。汁けがなくなったらシナモンをまぶして荒熱をとる。
- ④パイシートを半解凍し、麺棒で軽く伸ばす。
4等分にカットし片面に切り込みを入れる。
切り込みが入っていない方にはフォークで空気穴を開け、りんごをのせる。
- ⑤周りの縁に卵黄を塗り、切り込みを入れた方を被せる。
縁をフォークで抑え、表面に卵黄を塗る。
- ⑥予熱しておいたオーブンでまずは200℃で10分。焼き色が付いたら、180℃で15分位焼いたら完成♪



地域密着型認知症対応型通所介護 やぎ詩の郷

〒629-0113 南丹市八木町^{おさべ}刑部片山20番地7

☎ 0771-43-0317

..... 作品募集

ニャンたんをつくろう!

ぬいぐるみやキーホルダーなど、
ニャンたんの手作り作品を募集しています。

サロンでも
取り組んで
みてください

募集
締切

平成29年2月28日(火)

たくさんの応募を
待ってるニャン



提出先

社協本所・各支所の地域福祉課にご持参してい
ただくか、郵便でお送りください。応募者の
ご住所・お名前・電話番号をお知らせください。

その他

- 作品の大きさは問いません。
- お寄せいただいた作品は、南丹市社会福祉協議会に寄贈していただきます。(広報活動に使用する場合があります。)
- 作品は、社協だよりでのご紹介や、作品展覧会を開催予定です。

※ささやかですが、参加記念品を用意しております。



作品例 編みぐるみのニャンたん

善意のご寄付ありがとうございました

《平成28年9月1日～平成28年11月30日受付分》

園部ロータリークラブ 会長 今井 守	様	300,000円	創立35周年記念チャリティゴルフ大会の募金を福祉のために
京都山坊主	様	5,000円	第40回全国育樹祭おもてなし広場出店の売上金一部を福祉のために
南丹市ゴルフ協会 会長 浅野 敏昭	様	50,000円	ひより舎のために
京都山坊主	様	3,000円	胡麻の交流秋祭り出店売上金の一部を福祉のために
園部高等学校 昭和28年卒業同期会	様	10,000円	福祉のために
カラオケ同好会 道	様	27,764円	第12回社会福祉チャリティ歌謡フェスティバルの募金を福祉のために
石川 武夫	様	100,000円	亡妻の供養に
㈱カードックオクムラ	様	16,720円	福祉のために
園部カラオケ同好会 『園歌』	様	20,000円	福祉のために

広瀬 弘一	様	100,000円	亡母の供養に
小川 隆史	様	100,000円	ベッド・ポータブルトイレ借用のお礼に
福嶋 貞夫	様	10,000円	福祉のために
南丹市ゴルフ協会 代表 谷 智恵美	様	25,000円	あじさい園のために
板倉 久美恵	様	50,000円	亡父の供養に
若江 好弘	様	100,000円	ベッド借用のお礼に
藤原 良恭	様	100,000円	亡母の供養に
美山育成苑	様	20,000円	美山育成苑まつりのお礼に
植田 伊佐男	様	3,000円	ベッド借用のお礼に
匿名寄付	22件	匿名寄付計	402,000円
匿名預託	2件		



第3回

あなたのまちの ふれあい いきいきサロン

青戸ふれあい・いきいきサロン(八木町)

開催日：2ヶ月に1回 第3水曜日

場 所：八木町青戸公民館

よいお天気の中、ニャンたんは、「青戸ふれあい・いきいきサロン」にお邪魔しました。
この日は、ほほえみ八木デイサービスの職員が、サロンの方々と交流していました。



26名の方が参加されていました。まず、最初に声をださずに誕生日を確認し合いながら誕生日順に並び、合っているか確認をし合うゲーム「誕生日リング」をしました。(何年生まれかは内緒!)順番通り並べているかドキドキしましたが、無事成功しました。
(左の写真)

「座っていてもできる体操」も、みなさん元気よく腕を伸ばし、足を動かされていました。(右の写真)
とっても元気なサロン♪

「一歩外にでることで人と人がふれあい、ひとつのことを共有することで親しみも沸き、つながりが出てくると思います。」と代表の方はお話しされていました。



うちのサロン自慢

笑顔とありがとうっぱいのサロンです。
ひとりでも多くの人に足を運んでもらえるよう、区長、老人会、民生児童委員、ふれあい委員と皆で声かけあっています。

次は美山町のサロンへおでかけします

発行

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 ☎ 0771-72-3220 ☎ 0771-72-3222
(代表) メールアドレス na_shakyo@cans.zaq.ne.jp

園部支所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 ☎ 0771-62-4125 ☎ 0771-63-5606
八木支所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎17番地 ☎ 0771-42-5480 ☎ 0771-42-4412
日吉支所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 ☎ 0771-72-0947 ☎ 0771-72-0732
美山支所 〒601-0722 南丹市美山町安掛下8番地 ☎ 0771-75-0020 ☎ 0771-75-0829

ホームページ 南丹市社協

検索